

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年1月10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891600041		
法人名	社会福祉法人 木犀会		
事業所名	花水木	ユニット名	さくら
所在地	〒309-1717 茨城県笠間市旭町629-4		
自己評価作成日	平成23年5月23日	評価結果 市町村受理日	平成23年12月26日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年7月28日	評価確定日	平成23年12月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご家族様とご利用様が円滑に関係が継続できるよう配慮しながら、地域との中でもそのひとらしく生きがいを見い出せるように笑顔のある生活を支援していきます。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地域の散歩ボランティアを活用して利用者が安全に外出ができるように取り組んでいる。 運営推進会議終了後、委員に事業所の行事に参加してもらい実情を見てもらうとともに、認知症への理解と協力を呼びかけている。 事業所便りと一緒に担当職員の手紙や利用者の写真を添えて、毎月家族等に送付している。 管理者は職員の意見を積極的に取り入れて運営に反映させるほか、職場の環境改善に力を入れている。
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員と理念を考え作成し住み慣れた地域の中でつながりを大切に又、1人ひとりの思いを大事に見直しをしながら実践につなげられるようにしている。理念を毎日の朝礼時に確認している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を掲げ、管理者や職員は朝礼時に唱和して確認し、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の時職員とご利用様とで道路のゴミ拾いをおこない近所の方とのあいさつもしている。又、ボランティアの方達とも散歩にしている。	利用者は職員と一緒に市主催の敬老会や灯籠流し、地区の運動会に参加している。日々の散歩は地域の散歩ボランティアの協力を得ているほか、利用者は近隣住民と挨拶や会話を交わしている。利用者や職員と一緒に清掃活動に参加するなど、地域の人々との交流を通して認知症への理解が得られるように努めている。	消防団など、地域の協力が得られるように自治会への加入を考慮中なので、実現できるよう取り組むことを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩や買物、地域の敬老会などで地域の人々との交流をしている。市主催の灯籠流し祭りの灯籠づくりに参加した。区の運動会に参加地域の方と会話や活動の中で認知症の人の理解を得るよう努力をした。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を行事を兼ねて行ない、家族会の無記名アンケートの報告をしたりなど利用状況、行事報告、現状報告、今後の課題、問題点について意見を賜りアドバイスをうけ実践している。	運営推進会議は年間計画を立て市職員参加のもと2ヶ月に1回開催している。会議では家族アンケートの結果を報告したり、行事や今後の取り組みなどを話し合い、出た意見や提案をサービスの質の向上に活かしている。運営推進会議後に行事を組み込み、委員に参加してもらい実情を見てもらっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	誌担当課や地域包括支援センターを訪問し運営推進会議以外でも気軽に相談できる関係を築いている。	市担当者に運営推進会議や事業所の行事に参加してもらい、事業所への理解が得られるように努めているほか、事業所から市担当課や地域包括支援センターに出向いて相談するなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	昼間は玄関を施錠せず空気の入替えなど部屋や廊下の窓もあけ安全面に配慮しながら自由な暮らしを支援している。マニュアルを作成するとともに全職員が理解し実践に取り組んでいる	身体拘束をしないケアのマニュアルを作成し、職員は研修を通して認識を深めたり互いに注意をし合うなど、玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 職員はヒヤリハットの記録を回覧することで利用者の安全を図るように努めており、身体拘束をせずに自由な暮らしができるように支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行ったりマニュアルを作成したり話し合いを行ったりして言葉、行動の虐待について注意をはらって観察し職員同士が声かけあっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ケアマネや管理者など権利擁護に関する研修での職員への報告説明をしている。法人として権利擁護に関する研修を予定している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書類を提示し事前に説明をおこなっている。疑問点にも十分な説明をおこなっている。経済的なことへの不安、介護報酬改正時には個別に文章とともに説明し理解を頂くようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話、面会などの時家族の要望悩みなどを聞く機会がある。又家族会などで無記名アンケートを書いていたいたり(意見要望)して運営に反映している。運営推進会議にてアンケートの現状を報告して意見などきいている。投書箱を設置している。	玄関に意見箱を設置しているほか、家族会で無記名のアンケートを実施して家族等の意見や要望を汲みあげるとともに、出た意見等を運営推進会議で話し合い運営に反映させている。 月1回事業所便りを発行し、事業所の取り組みや利用者の暮らしぶりを伝えることで家族等の意見が出易くなるように努めているほか、家族アンケートの結果を家族等に報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティングや会議その他個別にての意見提案を聞く機会を設けている。自ら職員が考え前抜きに提案できるように方全員で作った理念を共有出来る様に改善すべき点について話しあっている。	管理者は毎日の朝礼や昼礼の場で職員の意見や提案を聞いており、意見等を出し易い雰囲気づくりを心がけているほか、個別にも話を聞いている。 管理者は利用者と接する機会が一番多い職員同士が話し合い助け合って物事を決めていくように指導しており、職員の意見やアイデアが運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の疲労ストレスに気を配り勤務時間内で気分転換出来る休憩室を確保し人間関係を把握するようにしている。行事などアドバイスをしながらやり遂げた満足感(利用者様や家族などに喜ばれた)感じ取って向上心につなげられるようになってきた。人事考課を行い勤務状況などや利害、向上心がもてるように環境の整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として年間通し各研修をし報告、実績、結果を提出し実践につなげている。些細なことでも必ず職員同志ケアの確認をする事でチームワークの勉強につなげている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同事業所の研修に参加している。系列の施設の見学や内容を把握し活動やケアについてサービスの向上につなげている。又社共主催の同業所との勉強会など参加している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	言葉かけに寄り添いながら生活をしていただくことで不安を解消し要望などを把握しそれに対応できるようにしています。又他のご利用者様との関係づくりの為職員が間に入り一緒にレクリエーションや日常の作業をしながら橋渡しをしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にサービスの内容を詳しく説明しご家族の苦労や不安要望に耳を傾けながら又実際に見ていただくことをしながら利用される事で広がっていく可能性を前向きにお話しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様のご自宅での様子などを傾聴しご本人やご家族様の思い状況を確認しより良い支援の提案など話し合いながら信頼関係を築き必要なサービスにつなげるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は日常生活の中で体験したことなどを教えていただいたりしながらそういう場面が多くもてるように工夫や声かけに配慮している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度は広報誌とともに日常の暮らしぶりをご家族様へ送っている。疎遠となっているご家族様もそれにより現在のその人の暮らしぶりの情報が得られる。ご家族様から電話や行事への参加が増えてきている。個人の生活の写真などもときより送っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の機会を設けてなじみの場所にいっている。又現役時代の部下他友人が会いに来ていただいたりしている(ご家族様に許可を得ている)電話や手紙の支援などを行っている。	利用者の希望にそって墓参りや行きつけの美容院へ行けるように支援をしているほか、兄弟を訪問できるように支援をしている。 職員は利用者の馴染みの人との電話や手紙のやり取りを支援しているほか、職場の同僚や友人の来訪は家族等の許可を得るなどの配慮をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個別に話を聞いたり相談に乗ったり他、ご利用者様と楽しく過ごす時間やユニットを行き来して気の合う同志が過せる時間をつくり円滑になるように調整役として支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設等へ移動され契約が終了したご本人、ご家族様に対しても折に触れ不安なこと相談ごとはないか声かけすることになっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人との会話の中で希望、意向の把握が出来る様に努めている。意思疎通が困難な方は表情顔色にての判断できるようご本人の観察をしている。又ご家族様や親戚や友人が面会時に重要な情報が得られるようにしている。	職員は利用者との日常の会話や表情、顔色から思いや意向の把握に努めるとともに、小さな事でも記録ノートやケースファイルに記入して全職員で共有し、朝礼や昼礼で話し合い、利用者本位の支援をしている。 夏祭りなどの行事の際に「化粧をしたい」、「浴衣を着たい」などの利用者の希望を聴き、意向にそった支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査は出来る限りご本人の馴染みの暮らしをしていた場所へ伺いしそこから得られる情報を大切にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の過ごし方、心身状態についてはケース記録にて把握できるように記録し特に特変事項を中心に申し送りをしている。季節や入院退院などにより状況の変化があるためそのつど把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の意向家族の思いを計画へ記録し関係者へしめしている。担当職員が中心にモニタリングをしカンファレンス時には変更事項をケアプランに反映するようにしている。	モニタリングを実施するとともに、計画作成担当者が中心となり利用者や家族等の思いや職員の気づきを朝礼や昼礼で話し合い、介護計画に反映させている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの課題サービス内容実施時のご本人の反応を中心に記録しケア側の気づきも記入している。朝礼、昼礼で本人の状況変化に対し統一したケアと注意点など話し合い介護計画に盛り込んでいく。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人ご家族様の希望の係りつけ医へ家族とともに付き添いしている。お墓参りの準備付き添い支援を行っている。入院時には洗濯物の交換や様子観察ご家族様への入院状況をお知らせしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方達と一緒に散歩をし、買物や外出も回数を増やし地域の方達との交流を心がけ室内では食器拭きや洗濯たたみなど残存機能を生かし意欲的な雰囲気の中楽しく生活を送るように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院より往診、同事業所の看護師による健康管理と相談を支援24時間体制で対応している。又歯科、整形外科、眼科などの受診はご本人やご家族様の希望に応じて対応している。年に1回健康診断、インフルエンザ予防接種を行っている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を職員が付き添い支援しているほか、月2回協力医療機関の医師による訪問診療や週1回看護職員による健康管理を行い、適切な医療が受けられるように支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調や些細な表情の変化をみのがさないように早期発見変化など気付いた事あれば管理者、ケアマネに報告、同事業所の看護師や往診のドクターに連絡対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時幾度と面会をし不安を取り除きご家族様と連絡を取り詳しい状況を報告している。病院の主治医や相談院とも連絡をとり又往診のドクターや看護師にも連絡をとりあっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のに向けた方針、マニュアルをつくっている。重度化して退院したご利用者様について病院にて看護サマリーの確認と主治医との連携をとりご家族様やご本人の意向を確認し支援をおこなっている。看取り介護の勉強会を行ったり見取り介護を希望するかの確認を行ったりしている。家族会で家族の方にも勉強会を開いた。	重度化や看取りの対応方針を契約時に利用者や家族等に説明するとともに同意を得ているほか、意思確認書を作成している。家族会で看取りに関する勉強会を開催し、事業所と家族等の共通認識に努めている。看取りに向けて法人研修や内部研修を行い、職員が理解を深められるように努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署にて救急法など研修をしたり転倒、誤嚥時などの処置連絡の確認をおこなっている。法人として緊急時の対応など研修を予定している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署などの協力を得た避難訓練や食料備品などの確保をしている。避難訓練は民生委員や地区の協力を得、地震などの火災時の訓練をおこなっている。消防の設備点検を業者に委託して定期的に消防署に報告している。	消防署の指導で年2回避難訓練を実施するとともに、民生委員や地区委員の参加を得ており、地域との協力体制が整っている。避難訓練の実施記録を作成し、訓練で明らかになった課題を話し合っている。東日本大震災の教訓をもとに、できる限りの日曜日に職員のみで自主訓練を実施している。災害時に備え、食糧や飲料水のほかガスコンロやガスボンベなどを備蓄している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の呼び方にも配慮し姓・名で聞き慣れている方で対応している。ポータブルトイレについては専用の保管場所がないため布などのカバーを利用、他の利用者様や面会の方達などの目に触れないようにしている。天気の良いときには外に干すようにしている。	職員は利用者や家族等の希望に合わせて、利用者が聞き慣れた呼び方で対応している。 トイレ誘導や失禁時の声かけは誇りを損ねないように注意しているほか、ポータブルトイレは人目につかないよう布をかぶせるなど配慮をしている。 個人情報に関する書類は事務室に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望に応じて外出支援や買物を行っている。又、本人の訴えを受け止めて無理強いしないように混乱しないように答えやすく選ぶ事が出来る様に支援している。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりのペースに合わせて家事支援や外出支援を柔軟に行っている。その日の体調や気分を配慮しその時の利用者様の気持ちを尊重し無理のない内容で対応している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日中でもご本人の意思にて着替えなどを行っている。自己決定がしにくい利用者様には季節など考慮しながら一緒に考えたり選べるように支援をしている。移動美容室も利用している。行きつけの美容室を希望の方は職員と一緒に行って談話も楽しみにしている。行事の時には特に女性の方はお化粧を職員がお手伝いし生き生きとしている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	主食のご飯は目の前にて温かく量も本人の確認のうえで盛り付け職員と一緒に準備や食事のかたづけを楽しんで食事が出る様雰囲気づくりをしている。	事業所の栄養士が作成した献立に花壇で収穫した野菜を加えるなど、栄養バランスの良い食事を提供している。 利用者にその日の体調に合ったご飯の量を確認したり、咀嚼や嚥下状態に合った食事形態となるように配慮をしている。 利用者はできる範囲で下膳や食器拭きなどを職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	副菜が多いときはご飯は少し減らしています。途中間食のあった方は3食で調節するようにしています。水分制限のある方は目安表をもとに摂取していただいています。利用者様の身体機能に応じて刻み食や栄養補助食品などの支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯はポリドントなど洗浄しています。残存歯は出来るところまではブラッシングしていただき、職員が仕上げ磨きを歯間ブラシなどを利用して行っています。歯が全部ない方はうがいだけでも行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を参考に排泄パターン、利用者のサインに気付き又とトイレの訴えのない利用者でも排泄を促がし気持ちよく排泄できるように支援している。	職員は排泄チェック表を参考に利用者一人ひとりの排泄パターンを把握したり、利用者のサインを見逃さないよう気を配り、タイミングに合わせて声かけや誘導を行ってトイレで排泄ができるように支援をしている。 気持ちよく排泄ができるよう、便秘予防体操を取り入れたり食材や水分量に配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を参考に便なし続く時ヨーグルト、オリゴ糖、寒天を食べていただいています。腹部マッサージ、便秘予防体操など行い水分摂取し排便チェック表を使用して一人ひとりの状況に応じて支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴表に基づき週2,3回を目安とし入浴して頂きますが拒否や外出により入浴できない場合、曜日、時間をずらして工夫し入浴日でないときは、就寝前に清拭、足浴をしさっぱりとしていただくように支援しています。	入浴表を作成し週2回から3回入浴ができるように支援をしている。 入浴を好まない利用者には日をずらしたり、清拭や足浴などの対応をしている。 入浴が楽しめるよう菖蒲や柚子を入れて季節感を出したり、歌を歌いながら入浴するなど工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの意向を確認しながら利用者の状態に合わせて休まれる環境を整え休息したり入眠したりしていただけるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各居室担当による服薬状況の確認や薬のジョイントのチェックを行い薬使用にあたっての用法、用量や薬の変更、一時的に薬が追加する場合がありますので申し送りと十分な確認を取るようになっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑での野菜作りや調理、食器の片付け、洗濯物たたみ、毎日のリハビリ体操など利用者様1人ひとりにあった楽しみや自信の持てる役割の支援をしている。役割の終了後は必ず感謝の言葉を伝えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の希望で個別に買物、ストアへのお茶のみ、他の施設に入所している妹様への面会支援、職員の個別散歩支援、毎月2回の散歩ボランティアの外出支援を行っている。	年間外出計画を作成しているほか、日常の食材の買い出しに利用者が数人ずつ同行できるように支援をしている。 利用者の個別の買い物にも随時対応している。 散歩ボランティアを活用し、安心して散歩ができるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭貴重品はホーム内で管理保管しているが財布など保管場所などを利用者様に伝え不安にならない様に支援している。外出買物時には本人に渡し精算されるよう支援しご本人によっては恥をかかないように職員が前もって準備している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の申し出によりホームの電話を使い家族知人への連絡をしている。又手紙での情報交換も支援している。居室に携帯電話を設置しご本人にも出来る操作で家族のみに電話をできるようにしている利用者様もいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにテレビ、CDラジカセ、折り紙、トランプ、新聞、カルタ、鉛筆、クレヨン等置き自由に使ってもらっている。玄関前にベンチを設置し季節の花も育て畑も作り野菜を育てている。調理する匂いや音などを感じ取りながら安心して過せる食堂に季節の鉢植えを置いたり廊下のスペースに観葉植物を飾ったり玄関が狭いので玄関の中にイスはおけないが居心地良く過せるように配慮している。	居間は少し狭いが、事務所内にソファを設置して利用者が自由に使えるようにしている。 玄関の外にベンチを設置し、外気浴ができるように工夫をしている。 利用者はユニット間を自由に行き来して、居心地よく過ごしている。 花壇で花や野菜を作っており、室内に飾ったり献立に加えるなどで、暮らしに季節感を取り入れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの他にもイス、ソファ（事務所内）ベンチ（玄関前）に置き思い思いに過せるようにしている。気の合う利用者様同志がユニットからユニットへ移動して話ができる様にしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活用品の持ち込み制限はなく利用者様は家族と相談しながらテレビ、家具、仏壇などを飾り落ち着いて暮らせるように工夫している。中には口に何でもいれてしまう方もいるので、ケースバイケースで物を置かない部屋もあるがご家族の了解を得ている。家族の写真などを壁に貼って家族の思いを本人に伝えている。	利用者は家族等の協力を得て使い慣れた家具などを自由に持ち込んだり、家族や孫の写真を飾るなどで自分らしい居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共同空間では廊下をはじめ手すりを随時設置。居室においては1人ひとりの身体機能にあわせてベッド、ポータブルトイレ、家具類を設置し自立した生活が送れるように工夫している。古い建物である為段差があるが目印をつけたりその都度声掛け見守りにて転倒予防に努めている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 花水木

作成日 平成23年12月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		移転したばかりなので、地域との交流を徐々に深めていく。	地域の自治会との交流を深める。	消防団の会合に参加で話し合う。民生委員、区長との連携につなげる。	3年～6年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。